



7 天鷲絨友禪「龍図」掛幅

1幅 明治23年(1890)
274.0×210.5

狩野探幽(1602～74)「龍図屏風」(六曲一双、千總所蔵)のうちの右隻の図様を天鷲絨友禪で表している。天鷲絨友禪は、明治11年に開発された新しい技術によるもの。西村總左衛門、そして千總の作品に特徴的な技法である。明治23年第3回内国勸業博覧会の出品作で、宮内省買上げとなったものである。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

美術染織の精華―織・染・繡による明治の室内装飾

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 54

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 横溝廣子
発行 宮内庁
平成二十三年三月二十九日発行

© 2011, The Museum of the Imperial Collections